



今年度は附属小の  
「創立150周年」です。  
ワクワクでいっぱい年にしていきます！

令和6年度 附属小学校だより

# スマイル<sup>4</sup>ふぞく



第9号 令和7年2月3日（月） 校長 古野 祐一

## 今年の漢字は「進」！

毎年のことですが、新しい年に目指す姿を漢字にして伝えています。1月8日（水）の2学期後期開始式で伝えた漢字は、「**進**」です。自分自身の力を**もう一歩前へ進めようとする気持ちを、行動に移してほしい**という期待。「自分たちの学校は自分たちで創る」と進めてきた学校づくりの取組を、**更に進歩させてほしい**という願いを伝えました。令和6年度の締めくくりをしつつ、令和7年の始まりを形作っていく2学期後期を豊かな時間にしていきます。

## 本校食育が文部科学大臣表彰を受賞！

本校の食育やふるさと教育等、一連の取組が評価され、**文部科学大臣優秀教職員表彰「社会に開かれた教育実践奨励賞」**をいただきました。全国で4つの学校のみがいただける栄誉ある賞です。1月17日（金）に東京大学の安田講堂で表彰式があり、この賞の立役者である一瀬栄養教諭が受け取ってきました。昨年度の給食甲子園出場チームの中から、主催者の推薦を受け、文部科学省での選考を経て受賞の運びとなりました。本校の総合的な学習の時間で取り組んできた伝統野菜の取組や、一瀬栄養教諭が中心となって様々に取り組んできた食育授業等の実績が認められたことを大変喜んでいきます。加えて、こうした一連の取組が評価され、**長崎大学の学長賞**を一瀬栄養教諭が受賞することになりました。子供たちの成長に大きな影響を与える食育の取組を、今後も学校あげて取り組んでまいります。



東京大学の安田講堂で、記念の一枚！



職員室前に掲示していますので御覧ください！

## 図書館がついに完成！

150周年記念事業の目玉として取り組んできた**児童参画の図書館改造**がついに完了しました。保護者の皆様にもぜひ見ていただきたいので、図書館開放期間を、**2月14（金）～2月28日（金）**に設けます。持久走記録会や幼稚園送迎時、育友会の時など、いつでも自由に御覧ください。奥のスペースに完成した「スマイルパーク」は絨毯に座って読書を楽しむことができます。子供たちの利用は、今週5日（水）からスタートです！



最後の図鑑並べも6年生が活躍しました！



「スマイルパーク」で読書を楽しむ子供たち。最初の利用は頑張った6年生です！



スマイルパークの文字を貼っているところ！

※裏面に続きます！

# 子どものちから

11月から3年生と体育の授業をしています。体育科教諭として赴任した私にとって4年ぶりの体育授業は、幸せな時間です。体育館改修工事を機に、多くの体育教材が新たに導入されました。様々な種類のボールが一人一個準備されています。跳び箱も大小合わせて15台、安全性を考慮したウレタン製の跳び箱や平均台、坂道マットなどの動きを補助し技能を高める教材など、充実した教育環境が整っています。音楽室にも、2台のグランドピアノ、ティンパニー、ドラムセットなど、楽器の種類も多く、ここ数年は、理科のプログラミング教材や幅広いICT教材の導入など、先進的な研究を進める施設や備品が増え、学びの可能性を広げる一助になっています。

# 豊かな環境と教材づくり

一方で、市販の教材だけでは、できない学習があります。その際は、教師の手作り教材を使います。本校では授業プランを毎時間作成していますので、既存の教材だけでなく、子どもの実態や興味に応じた教材を作成したり、先進的な学びを進めるための教材を開発したりします。子どもの学ぶ姿を思い浮かべながら、ワクワクした気持ちで行う教材づくりは、教師の醍醐味です。



私にもオリジナル学習単元や教材があり、当時の子どもたちの学ぶ姿を鮮明によみがえらせてくれる宝物になっています。 **教頭 橋田 晶拓**

# 教えから学びへ<sup>2</sup>

## 学びのアルバム

『スマイル<sup>3</sup>ふぞく第11号』にて、学校目標である「一步前へ、何度も挑戦！」する子どもに育みたい心と重なるものであり、未来社会を創り出すために必要な力として、次の三つを御紹介しました。

- 自分を高める力(向上心や自己肯定感等)
- 他者とつながる力(社会性やコミュニケーション力等)
- 自分と向き合う力(自制心や自己調整力等)

本年度の研究の一つとして、全校で、この三つの力を視点に、教師と子どもとで共有した価値ある学び方を、『学びのアルバム』と題して教室掲示や電子端末に蓄積することに取り組んできました。



子どもが、これらを学びの様々な場面で活用し、自らがどう学ぶかを選択・判断するための指標とすることで、自律した学びを進めていくことができるようにしています。研究発表会で参会者の皆様にご覧いただけるのは、僅か45分間ですが、そこには確かに、この1年間、教師と子どもとで紡いできた営みが生きているのです。

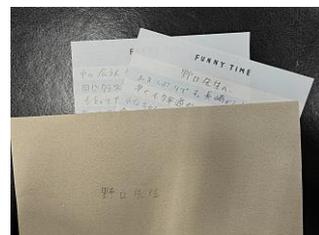
この1年間のストーリーが込められた学びのアルバム。研究発表会を通して、また新たな1ページが加わります。 **主幹教諭 松尾 勇哉**

# 身近な幸せ

## 一生の「つながり」

年末年始は、普段はなかなか会えない人たちに会うことができました。同級生や成人式を迎えた教え子たちなど、懐かしい人たちとの縁が、寒かった冬の体と心を温めてくれました。

そしてつい先日、6年生を通じて、転校していった北斗の教え子からお便りが届きました。長崎を離れ7年という月日



が経ち、連絡を取ることができる友人が限られてはいるものの、長崎とのつながりが続いているという内容を嬉しく思いました。

本校では、スマイル附属を実現するために欠かせない「三つの願い」の一つとして「一生の友との出会い」を掲げています。私たちが手を貸さずとも、一生の友となる存在を見つける子もいるでしょう。ただ、そこに、意図的な体験や環境を提供することで、子どもたちのつながりを、より強いものにすることができるのではないかと考えています。そして、この学校で生まれたつながりが、いずれまた心を温めてくれる日がくるように願っています。

つながりを生むことのできる学校だからこそ、その子どもたちの出会いを大事にしたいと、改めて思わせてくれる便りでした。 **教務主任 野口 拓也**